

別記様式第2号 別添

浜の活力再生プラン (第2期)

1 地域水産業再生委員会

組織名	兵庫県地域水産業再生委員会 南淡漁協部会	ID (1122004)
代表者名	部会長 橋本 昌和	

再生委員会の構成員	南淡漁業協同組合・南あわじ市・兵庫県淡路県民局
オブザーバー	兵庫県漁業協同組合連合会

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	南淡漁業協同組合の地域 ・小型底びき網漁業 (5名)・機船船びき網漁業 (10名)・定置網漁業 (4名) ・刺網漁業 (26名)・一本つり漁業 (20名)・ノリ養殖業 (6名) ・たこつぼ漁業 (20名)・雑かご漁業 (19名) 合計110名 (重複あり)
-------------------	---

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

当組合の地域では、小型底びき網、機船船びき網、刺網、延縄、一本つりなどの漁船漁業と、ノリの養殖漁業が営まれており、四季を通じて多種多様な水産物が水揚げされている。

これらの漁法において漁獲対象となる資源の来遊状況、発生状況、生育状況等によって漁獲量の変動が大きく多種多様の漁業種類を営む事で漁業経営を行っている。又、漁獲対象となる資源の維持、安定を図るには当該海域に来遊する資源に対し適切な資源管理を行うことが重要である。

近年の海洋環境の変化等による漁獲量の減少や魚価の低迷に加え、現在も燃油価格の高止まりは、燃料費が支出の23%ぐらい占めるので、漁業経営が非常に困難な状況になっている。

又、当地域は、第1次産業の従業者の割合は減少傾向にある為、後継者不足で組合員数も減少傾向にあり、10年前と比較すれば32%減となっている。平成27年3月14日に地産地消を掲げた兵庫県最大級となるJA、市等が出資する会社の農畜産水産物直売所(美菜恋来屋)がオープンし淡路島の「食」を堪能できる待望の施設である。当該施設は当組合を含めた南あわじ市内5漁協も出資者となっており、強固な連携を図り、地元水産物を観光客の方や島民の方を中心に淡路島の本物の食を認知してもらう事を重視している。

(2) その他の関連する現状等

漁獲量の減少や魚価の低迷と共に厳しい経営状況によって後継者が育たず高齢化が進み、平成29年度の統計では、50代以上が77%を占めている状況にある。又、後継者の育成や担い手を確保する事が急務となっている。

漁獲量を維持するためには、量を獲りすぎない事に加えサイズ制限がある小魚は大きくしてから漁獲する、産卵親魚は漁獲せず再放流するなど、水産資源の再生産力を阻害しないことが重要とされる。又、引続き水産資源の繁殖事業として、アオリイカ資源増大事業、産卵用たこつぼ設置事業、魚礁設置事業、稚魚放流に取り組んでいる。

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

前期の取組・成果等を踏まえ、今期は以下の方針で取り組む。

○漁業収入向上のための取組

- 1) 漁獲物の品質向上 2) 資源管理計画の履行 3) 漁業後継者育成
4) 地元消費の拡大 5) 大型のり刈取船導入による生産量及び生産水揚高の増額 6) 種苗放流

○漁業コスト削減のための取組

- 1) 省燃油活動導入の推進 2) 省エネ機器導入の推進 3) 漁獲共済及び積立ぷらす加入促進

(3) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

水産資源の持続的な利用を図るために取り組む漁獲努力量の削減等については、小型底びき網・刺網・釣り・たこつぼ・雑かご漁業・小型定置網漁業管理計画に基づく漁獲管理を行っている。又、のり養殖業については兵庫県のり養殖漁場改善計画に基づく生産対策等を遵守している。

(4) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1年目（平成31年度（2019年度））「所得2%向上」

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>○漁獲物の品質向上 鮮度管理の徹底について、活魚を選別する際、魚種ごとにタンクを分け、各タンクにブローアを個々に入れ、活魚のへい死が出ないように注意する。又、夏場は、活魚を選別する時は、選別台を氷で冷やして鮮度が落ちないように努める。鮮魚の場合では、あじ等をパック詰めする時は、鮮度保持用規格袋の中に、アジ、氷水を入れ冷水温度を保つよう努める。 シラスは鮮度が落ちやすいため一回の操業時間を短時間にし、水揚げする毎に荷捌所まで運搬し氷をよく効かせ鮮度保持に努める。 これらの取組によって低価格魚の付加価値向上を図る。</p> <p>○資源管理計画の履行 資源管理計画において、小型底びき網・刺網・釣り・たこつぼ・雑かご漁業・小型定置網漁業は休漁期間を定めており、各漁業者は資源管理計画を履行する事により、資源の維持、増大を図る。また、のり養殖業については兵庫県のり養殖漁場改善計画に基づく生産対策等により生産対策を図る。</p> <p>○漁業後継者育成 意欲ある漁業後継者の育成と新規就業者のスキルアップを図るため、兵庫県青壮年部主催の活動等への参加や良好な研修環境整備に努める。</p> <p>○のり生産量及び生産水揚高の増額 平成30年度漁業経営構造改善事業と平成30年度漁業施設貸与事業で整備したノリ高性能刈取船を活用し、ノリ養殖業の生産性向上と生産枚数の増加を図る事で経営体質の強化を図る。</p> <p>○種苗放流 南浦地域漁業振興対策基金協力のもと、タイ・オニオコゼ・キジハタ・カサゴ・ヒラメ・車エビの放流を実施し、水産資源増大の取組を継続する。</p> <p>○地元消費の拡大 地元の鮮魚店、民宿、兵庫県最大級畜産水産物直売所（美菜恋来屋）への漁獲物の販売を行い、地魚の積極的な使用を促し消費拡大に努める。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>○省燃油活動の推進 漁業者は、減速航行に努めるとともに漁船を定期的に上架施設に引き上げ船底・プロペラの清掃を行う事により航行時の抵抗を減らし、燃油消費量の削減と経営コストの軽減を図る。</p> <p>○省エネ機器導入による燃油の節減 漁業者は機関換装等の際には、省エネ機器の積極的な導入を行う。</p> <p>○漁業経営セーフティーネットへの加入促進</p>

	漁業者に対して、燃油高騰による漁業経営への圧迫に備えるため、漁業経営セーフティーネット構築事業、漁獲共済、積立ぶらすの加入促進を行う。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ○競争力強化型機器導入緊急支援事業 ○漁業経営セーフティーネット構築事業 ○水産業強化支援事業 ○漁業施設貸与事業 ○漁獲共済及び積立ぶらす

2年目（平成32年度（2020年度））「所得4%向上」

漁業収入向上のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ○漁獲物の品質向上 鮮度管理の徹底について、活魚を選別する際、魚種ごとにタンクを分け、各タンクにブローアを個々に入れ、活魚のへい死が出ないように注意する。又、夏場は、活魚を選別する時は、選別台を氷で冷やして鮮度が落ちないように努める。鮮魚の場合では、あじ等をパック詰めする時は、鮮度保持用規格袋の中に、アジ、氷水を入れ冷水温度を保つよう努める。 シラスは鮮度が落ちやすいため一回の操業時間を短時間にし、水揚げする毎に荷捌所まで運搬し氷をよく効かせ鮮度保持に努める。 これらの取組によって低価格魚の付加価値向上を図る。 ○資源管理計画の履行 資源管理計画において、小型底びき網・刺網・釣り・たこつぼ・雑かご漁業・小型定置網漁業は休漁期間を定めており、各漁業者は資源管理計画を履行する事により、資源の維持、増大を図る。また、のり養殖業については兵庫県のり養殖漁場改善計画に基づく生産対策等により生産対策を図る。 ○漁業後継者育成 意欲ある漁業後継者の育成と新規就業者のスキルアップを図るため、兵庫県青壮年部主催の活動等への参加や良好な研修環境整備に努める。 ○のり生産量及び生産水揚高の増額 平成30年度漁業経営構造改善事業と平成30年度漁業施設貸与事業で整備したのり高性能刈取船を活用し、のり養殖業の生産性向上と生産枚数の増加を図る事で経営体質の強化を図る。 ○種苗放流 南浦地域漁業振興対策基金協力のもと、タイ・オニオコゼ・キジハタ・カサゴ・ヒラメ・車エビの放流を実施し、水産資源増大の取組を継続する。 ○地元消費の拡大 地元の鮮魚店、民宿、兵庫県最大級畜産水産物直売所（美菜恋来屋）への漁獲物の販売を行い、地魚の積極的な使用を促し消費拡大に努める。
漁業コスト削減のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ○省燃油活動の推進 漁業者は、減速航行に努めるとともに漁船を定期的に上架施設に引き上げ船底・プロペラの清掃を行う事により航行時の抵抗を減らし、燃油消費量の削減と経営コストの軽減を図る。 ○省エネ機器導入による燃油の節減 漁業者は機関換装等の際には、省エネ機器の積極的な導入を行う。 ○漁業経営セーフティーネットへの加入促進 漁業者に対して、燃油高騰による漁業経営への圧迫に備えるため、漁業経営セーフティーネット構築事業、漁獲共済、積立ぶらすの加入促進を行う。

活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ○競争力強化型機器導入緊急支援事業 ○漁業経営セーフティーネット構築事業 ○水産業強化支援事業 ○漁業施設貸与事業 ○漁獲共済及び積立ぶらす
-----------	--

3年目（平成33年度（2021年度））「所得6%向上」

漁業収入向上のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ○漁獲物の品質向上 鮮度管理の徹底について、活魚を選別する際、魚種ごとにタンクを分け、各タンクにブローアを個々に入れ、活魚のへい死が出ないように注意する。又、夏場は、活魚を選別する時は、選別台を氷で冷やして鮮度が落ちないように努める。鮮魚の場合では、あじ等をパック詰めする時は、鮮度保持用規格袋の中に、アジ、氷水を入れ冷水温度を保つよう努める。 シラスは鮮度が落ちやすいため一回の操業時間を短時間にし、水揚げする毎に荷捌所まで運搬し氷をよく効かせ鮮度保持に努める。 これらの取組によって低価格魚の付加価値向上を図る。 ○資源管理計画の履行 資源管理計画において、小型底びき網・刺網・釣り・たこつぼ・雑かご漁業・小型定置網漁業は休漁期間を定めており、各漁業者は資源管理計画を履行する事により、資源の維持、増大を図る。また、のり養殖業については兵庫県のり養殖漁場改善計画に基づく生産対策等により生産対策を図る。 ○漁業後継者育成 意欲ある漁業後継者の育成と新規就業者のスキルアップを図るため、兵庫県青壮年部主催の活動等への参加や良好な研修環境整備に努める。 ○のり生産量及び生産水揚高の増額 平成30年度漁業経営構造改善事業と平成30年度漁業施設貸与事業で整備したノリ高性能刈取船を活用し、ノリ養殖業の生産性向上と生産枚数の増加を図る事で経営体質の強化を図る。 ○種苗放流 南浦地域漁業振興対策基金協力のもと、タイ・オニオコゼ・キジハタ・カサゴ・ヒラメ・車エビの放流を実施し、水産資源増大の取組を継続する。 ○地元消費の拡大 地元の鮮魚店、民宿、兵庫県最大級畜産水産物直売所（美菜恋来屋）への漁獲物の販売を行い、地魚の積極的な使用を促し消費拡大に努める。
漁業コスト削減のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ○省燃油活動の推進 漁業者は、減速航行に努めるとともに漁船を定期的に上架施設に引き上げ船底・プロペラの清掃を行う事により航行時の抵抗を減らし、燃油消費量の削減と経営コストの軽減を図る。 ○省エネ機器導入による燃油の節減 漁業者は機関換装等の際には、省エネ機器の積極的な導入を行う。 ○漁業経営セーフティーネットへの加入促進 漁業者に対して、燃油高騰による漁業経営への圧迫に備えるため、漁業経営セーフティーネット構築事業、漁獲共済、積立ぶらすの加入促進を行う。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ○競争力強化型機器導入緊急支援事業 ○漁業経営セーフティーネット構築事業 ○水産業強化支援事業 ○漁業施設貸与事業 ○漁獲共済及び積立ぶらす

4年目（平成34年度（2022年度））「所得8%向上」

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>○漁獲物の品質向上 鮮度管理の徹底について、活魚を選別する際、魚種ごとにタンクを分け、各タンクにブローアを個々に入れ、活魚のへい死が出ないように注意する。又、夏場は、活魚を選別する時は、選別台を氷で冷やして鮮度が落ちないように努める。鮮魚の場合では、あじ等をパック詰めする時は、鮮度保持用規格袋の中に、アジ、氷水を入れ冷水温度を保つよう努める。 シラスは鮮度が落ちやすいため一回の操業時間を短時間にし、水揚げする毎に荷捌所まで運搬し氷をよく効かせ鮮度保持に努める。 これらの取組によって低価格魚の付加価値向上を図る。</p> <p>○資源管理計画の履行 資源管理計画において、小型底びき網・刺網・釣り・たこつぼ・雑かご漁業・小型定置網漁業は休漁期間を定めており、各漁業者は資源管理計画を履行する事により、資源の維持、増大を図る。また、のり養殖業については兵庫県のり養殖漁場改善計画に基づく生産対策等により生産対策を図る。</p> <p>○漁業後継者育成 意欲ある漁業後継者の育成と新規就業者のスキルアップを図るため、兵庫県青壮年部主催の活動等への参加や良好な研修環境整備に努める。</p> <p>○のり生産量及び生産水揚高の増額 平成30年度漁業経営構造改善事業と平成30年度漁業施設貸与事業で整備したノリ高性能刈取船を活用し、ノリ養殖業の生産性向上と生産枚数の増加を図る事で経営体質の強化を図る。</p> <p>○種苗放流 南浦地域漁業振興対策基金協力のもと、タイ・オニオコゼ・キジハタ・カサゴ・ヒラメ・車エビの放流を実施し、水産資源増大の取組を継続する。</p> <p>○地元消費の拡大 地元の鮮魚店、民宿、兵庫県最大級畜産水産物直売所（美菜恋来屋）への漁獲物の販売を行い、地魚の積極的な使用を促し消費拡大に努める。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>○省燃油活動の推進 漁業者は、減速航行に努めるとともに漁船を定期的に上架施設に引き上げ船底・プロペラの清掃を行う事により航行時の抵抗を減らし、燃油消費量の削減と経営コストの軽減を図る。</p> <p>○省エネ機器導入による燃油の節減 漁業者は機関換装等の際には、省エネ機器の積極的な導入を行う。</p> <p>○漁業経営セーフティーネットへの加入促進 漁業者に対して、燃油高騰による漁業経営への圧迫に備えるため、漁業経営セーフティーネット構築事業、漁獲共済、積立ぷらすの加入促進を行う。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>○競争力強化型機器導入緊急支援事業 ○漁業経営セーフティーネット構築事業 ○水産業強化支援事業 ○漁業施設貸与事業 ○漁獲共済及び積立ぷらす</p>

5年目（平成35年度（2023年度））「所得10%向上」

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>○漁獲物の品質向上 鮮度管理の徹底について、活魚を選別する際、魚種ごとにタンクを分け、各タンクにブローアを個々に入れ、活魚のへい死が出ないように注意する。又、夏場は、活魚を選別する時は、選別台を氷で冷やして鮮度が落ちないように努める。鮮魚の場合では、あじ等をパック詰めする時は、鮮度保持用規格袋の中に、アジ、氷水を入れ冷水温度を保つよう努める。 シラスは鮮度が落ちやすいため一回の操業時間を短時間にし、水揚げする毎に荷捌所まで運搬し氷をよく効かせ鮮度保持に努める。 これらの取組によって低価格魚の付加価値向上を図る。</p> <p>○資源管理計画の履行 資源管理計画において、小型底びき網・刺網・釣り・たこつぼ・雑かご漁業・小型定置網漁業は休漁期間を定めており、各漁業者は資源管理計画を履行する事により、資源の維持、増大を図る。また、のり養殖業については兵庫県のり養殖漁場改善計画に基づく生産対策等により生産対策を図る。</p> <p>○漁業後継者育成 意欲ある漁業後継者の育成と新規就業者のスキルアップを図るため、兵庫県青壮年部主催の活動等への参加や良好な研修環境整備に努める。</p> <p>○のり生産量及び生産水揚高の増額 平成30年度漁業経営構造改善事業と平成30年度漁業施設貸与事業で整備したノリ高性能刈取船を活用し、ノリ養殖業の生産性向上と生産枚数の増加を図る事で経営体質の強化を図る。</p> <p>○種苗放流 南浦地域漁業振興対策基金協力のもと、タイ・オニオコゼ・キジハタ・カサゴ・ヒラメ・車エビの放流を実施し、水産資源増大の取組を継続する。</p> <p>○地元消費の拡大 地元の鮮魚店、民宿、兵庫県最大級畜産水産物直売所（美菜恋来屋）への漁獲物の販売を行い、地魚の積極的な使用を促し消費拡大に努める。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>○省燃油活動の推進 漁業者は、減速航行に努めるとともに漁船を定期的に乗架施設に引き上げ船底・プロペラの清掃を行う事により航行時の抵抗を減らし、燃油消費量の削減と経営コストの軽減を図る。</p> <p>○省エネ機器導入による燃油の節減 漁業者は機関換装等の際には、省エネ機器の積極的な導入を行う。</p> <p>○漁業経営セーフティーネットへの加入促進 漁業者に対して、燃油高騰による漁業経営への圧迫に備えるため、漁業経営セーフティーネット構築事業、漁獲共済、積立ぷらすの加入促進を行う。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>○競争力強化型機器導入緊急支援事業 ○漁業経営セーフティーネット構築事業 ○水産業強化支援事業 ○漁業施設貸与事業 ○漁獲共済及び積立ぷらす</p>

(5) 関係機関との連携

取組の効果が十分に発現されるように、地元の南あわじ市役所、兵庫県漁業協同組合連合会、兵庫県水産技術センター、兵庫県淡路県民局洲本農林水産振興事務所との連携を図る。
 また、根拠地漁港における水産物基盤整備事業、海岸保全施設整備事業等の計画策定及び事業実施に協力し、当該漁港の維持管理を推進することをもって漁家資産及び背後地住民の生命・財産を守ることに協力する。

4 目標

(1) 所得目標

漁業所得の向上10%以上	基準年	平成30年度(2018年度):
	目標年	平成35年度(2023年度):

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

(3) 所得目標以外の成果目標

低価格魚種平均単価	サバ	基準年	399(円/kg)
		目標年	478(円/kg)
	丸アジ	基準年	196(円/kg)
		目標年	235(円/kg)
	ハマチ	基準年	194(円/kg)
		目標年	232(円/kg)
	スズキ	基準年	275(円/kg)
		目標年	330(円/kg)
	ナガハゲ	基準年	406(円/kg)
		目標年	487(円/kg)
	チヌ	基準年	244(円/kg)
		目標年	292(円/kg)
	ボラ	基準年	82(円/kg)
		目標年	98(円/kg)
グレ	基準年	279(円/kg)	
	目標年	334(円/kg)	

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

大量で安価な魚種を抽出して、基準年に過去3年間(H27年~H29年)の平均単価を設定し目標年には平均単価を1.2倍とする。

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
漁業経営セーフティネット構築事業	漁業者と国の抛出により、燃油価格の上昇したときに補填金を交付し経営の安定を図る。
漁獲共済及び積立ふらす	自然災害や予期せぬ不漁などの不慮の事故に備えることにより、漁業収入の安定を図り、漁業所得を確保する。 加えて積立ふらすにより資源管理や漁場改善に取り組む漁業者を対象として、漁業共済の経営安定機能を更に強化する。
省燃油活動推進事業	省燃油活動に積極的に取り組み漁業支出の軽減を図る。
競争力強化型機器等導入緊急対策事業	機器を導入することにより、漁業所得の向上を図る。
水産業強化支援事業	浜の活力再生プランに位置付けられた共同利用施設の整備、プラン策定地域における水産資源の管理・維持増大、漁港漁場の機能高度化や防災・減災対策に必要な整備等を支援する。
水産基盤整備事業(国)	魚礁、岸壁等の整備。
水産物供給基盤機能保全事業	漁港施設の長寿命化計画の策定及び漁港施設の補修を行う事で漁家資産の保全を図る。
海岸堤防等老朽化対策事業	海岸保全施設の長寿命化計画に基づき老朽化対策を計画的に推進する事で漁家及び背後地住民の生命・財産を守る。